

体育・保健体育授業以外の体力向上に向けた組織的な取組

全ての児童生徒が参加できたり、自己の興味・関心に応じた運動を選択したりして取り組むことができる運動機会の創出



ノー自転車通学デー

↑【児童会や生徒会と連携した異学年集団による運動機会を設定する取組】↓



↑【校区内の小中連携による運動機会を設定する取組】↓



↑【自己の興味・関心に応じた遊びや運動を選択して取り組んだり、学習内容の学び直しに取り組んだりすることができる時間の設定】↓



ポイント

- ・児童会や生徒会、校区内の小・中学校等と連携し、体力・運動能力の向上や運動習慣の定着に向けた取組を企画するなど、**児童生徒が主体的に運動する機会**を創出しましょう！
- ・**体育・保健体育の授業と関連付ける**などした**学校全体の組織的な取組**を工夫しましょう！

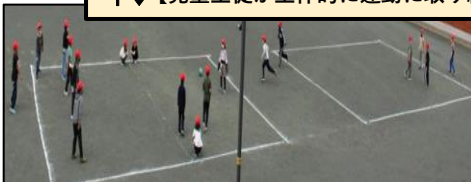
児童生徒が日常的に運動に親しむための運動環境づくりの工夫



↑↓【児童生徒が主体的に運動に取り組むことができる場の設定】↑↓



↑【児童生徒の運動への意欲を喚起するための掲示物や動画の作成】↑↓



学年対抗の部		個人戦の部	
1位 3年生	平均62.1秒	男子	1位 81.6秒
2位 1年生	平均62.0秒	2位 80.6秒	3位 79.6秒
3位 2年生	平均62.0秒	女子	1位 80.6秒
		2位 79.6秒	3位 77.6秒



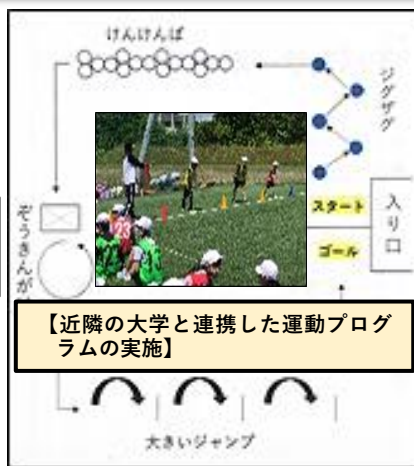
ポイント

- ・児童生徒が休み時間や放課後、家庭での時間等を利用し、自己の体力・運動能力の現状や興味・関心に応じた運動に**日常的に取り組むことができる環境**を整備しましょう！
- ・児童生徒の「ちょっとやってみようかな」という意欲を喚起したり、**短時間かつ手軽に運動に取り組んだりすることができる環境づくり**を工夫しましょう！

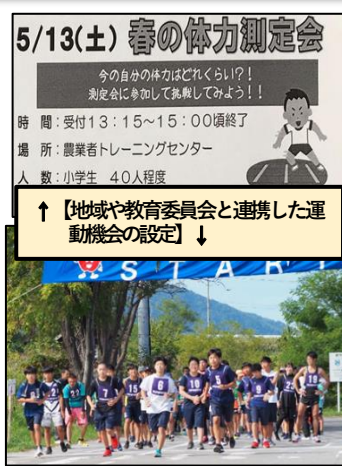
児童生徒の望ましい生活習慣の確立に向けた養護教諭、栄養教諭、外部人材、教育委員会及び保護者等と連携した取組の工夫



↑【養護教諭及び栄養教諭における望ましい生活習慣の確立に向けた授業】↓



【近隣の大学と連携した運動プログラムの実施】



↑【地域や教育委員会と連携した運動機会の設定】↓



↑【PTAと連携した親子で体を動かす機会や研修会の設定】↓



ポイント

- 児童生徒が望ましい運動習慣・生活習慣の確立に向けた自己指導能力を身に付けることができるよう、養護教諭や栄養教諭、地域の外部人材や教育委員会、PTA等と連携を図り、児童生徒の望ましい運動習慣・生活習慣の確立に向けた組織的な取組を充実させましょう!

各配置校及び在籍校における具体的な取組のまとめ

各配置校及び在籍校においては、令和4年度の本道・各管内・自校児童生徒の体力・運動能力や体育・保健体育授業の実態を踏まえ、これまで示した授業内外における取組を充実させたことにより、次のような成果を上げている。

- 児童生徒質問紙調査において、全国平均・全道平均と比較し、体育・保健体育授業の中で「目標を意識する」、「友達と助け合ったり、教え合ったりする」、「ICTを使って学習する」、「授業で学習したことの振り返る」ことで、授業の中で「できたり、わかったり」することが「いつもある」、「だいたいある」と肯定的に回答している児童生徒の割合が多い。
- 学校質問紙調査において、全国平均・全道平均と比較し、運動・スポーツが苦手（嫌い）な傾向がある児童生徒向けの取組、または技能の程度に応じた取組を充実させている学校の割合が多い。

- 実技調査(新体力テスト)の体力合計点においては、全国平均以上（小学校男女及び中学校女子）もしくは全国平均と同等（中学校男子）の数値を記録している。

これまで紹介したような指導過程の工夫による「できた」、「わかった」が実感できる体育・保健体育授業の実現や、授業内外を含めた運動・スポーツが苦手（嫌い）な傾向がある児童生徒に向けた取組、技能の程度に応じた取組を充実させることが、児童生徒の体力・運動能力の向上や、運動・スポーツに対する意欲の涵養へとつながります。